



## 辺野古の米軍新基地工事

# 埋め立て強行は難事で無謀

沖縄の辺野古で米軍の新

基地工事が強行されていま

す。政府は1月10日、広

大な軟弱地盤を抱える埋立

区域の北側で工事着手を強

行しました。国が県に代わ

り防衛省の地盤改良工事の

申請を承認する「代執行」

による工事の強行です。新

基地建設反対の圧倒的な民

意を踏みにじり、憲法に

よって国と対等であると定

められている自治体の権限

を奪うもので日本の民主主

義、地方自治に重大な汚点

を残すものになりました。

この「代執行」の発動は

初めての行使であり、全国

の地方自治体に圧力をかけ

るものと言わざるを得ませ

ん。さらに沖縄の海は53

00種もの生物が生息して

いて世界的にも貴重な生態

系が広がる辺野古・大浦湾

を埋め立てれば、自然は破

壊され取り返しのつかない

打撃を受けます。

なぜ「辺野古」なのか？

幾度となく示される沖縄

県民の圧倒的な要求は基地

は県外へです。いま使われ

ている普天間基地は沖縄戦

の直後に住民を強制移住さ

せ強権的に接収した土地に

造られたものであり沖縄の

人々にとって当然の要求で

す。米軍が新基地として辺

野古を選んだのは軍の再編

強化のためと思われる。

**新基地工事は難事で無謀**

新基地には難工事が予想

されていて地盤改良には7

万本以上の砂の杭を打ち込

まなければならぬといわ

れます。軟弱な地盤は海面

から下90mにも達してい

ます。国内の作業船の最大

施工能力は70mまでで作

業船を改造し行われるとみ

られますが、これまで経験

したことのない工事となり

ます。

工期は9年3カ月もかか

るとされており、仮にこの



期間で終わつたとしても運  
用開始は12年後の203  
6年となり実際にはさらに  
10年から20年の遅延は  
避けられないでしょう。

政府は新基地工事は「現  
在の普天間基地の固定化を  
避けるための唯一の選択  
肢」だという。目的を普天  
間基地の返還としている限  
り普天間は少なくとも21  
世紀の半ばまで住宅地のど  
真ん中に位置する危険な基  
地として使用されることに  
なります。

近隣国との関係は年々変  
化する中、長期に渡り膨大  
な工費をかけ延々と行おう  
とするに大きな危惧を  
感じざるを得ません。

強権の先には難事で無謀  
との声が待っているのでは  
ないか。立ち止まるのは今  
でしょう。

### 《自民党改憲草案99条 3項》

## 「最大限に尊重されなければならない。」この意味は？

自民党改憲草案の第99条3項で、基本的人権について「…  
最大限に尊重されなければならない。」としているが、その対象は法  
の下の平等、奴隷的拘束及び苦役の禁止、思想及び良心の自由、及び表  
現の自由などを対象としている。この改憲案の文言は人権を保障した現  
憲法と異なり、制限してはならないと言っていないことです。

つまり制限しますよと。不平等、徴兵、思想・表現を統制した80年  
前の戦中に戻そうとの魂胆が透けて見えます。

### 講演会 「台湾の有事」にさせない 主催 野田・九条の会

## 日中友好は世界の平和に貢献する

3月16日(土) 13:00 開場 13:30 開始

野田市 櫻のホール 4階 集会室 (定員 72名)

参加費 500円

講師 猿田佐世氏 (ND代表 上級研究員 弁護士)



猿田佐世氏

外交・政治問題について米議会やシンポジウムなどで提言を行ってきた猿田さん。台湾と中国の関係、日本はどうあるべきか、いわゆる「台湾の有事」について等お話しいただきます。ご参加お待ちしております。

### 今月の予定です

＜コロナの感染状況で変更・中止することがあります。＞

2月9日(金) 16:00～17:00

9の日  
行動

九条通信配布とボードでアピール

梅郷駅 通路

野田・九条の会

2月10日(土) 13:30～16:00

野田・九条の会 DVD 視聴 & 意見交換 「戦没船を記録する会」

2月例会

中央公民館 講座室

野田・九条の会

2月11日(日) 13:30～16:40

DVD 視聴と 意見交換 伊藤野枝・大杉栄虐殺事件 「風よあらしよ」

南部梅郷公民館

南地域九条の会

2月14日(水) 川間駅 南口9:00 集合

「第5福竜丸展示館」見学バスツアー

江東区夢の島

野田・九条の会

2月19日(月) 13:30～15:30

ちょっと暖かな「おしゃべりカフェ」 社会や政治のことなど気軽に おしゃべりしましょう。

北コミ集会室

野田・九条の会

3月3日(日) 13:30～16:40

DVD 視聴と意見交換 岡本喜八監督 「沖縄戦」

南部梅郷公民館

南地域九条の会

## 「能登半島地震」と「自民改憲案」 大災害時に必要なこと、不要なこと

新年も明けた午後4時過ぎ、のんびりとしていたところにぐらりぐらりと揺れが来た。ドンと来る地震ではなく、これは遠いが大きいなと感じつつ震源の報を待った。震源は能登半島の先端あたりとのことで、地震警戒があまりなされていない地域であった。

翌日2日夕刻、今度は羽田空港で航空機同士の衝突炎上の事故発生で衝撃的映像に驚く。乗客乗員全員無事を知りホッとするが正月気分は吹っ飛んでしまった。

新年早々連日の地震、事故発生に私たちは救助、対応をどのようにするべきかを考える機会を得た。大災害への備えは事前の準備は怠りなく、発災時は人力と備蓄品を惜しみなく迅速に投入することが定石とされている。具体的に国は災害基本法を基として、経験知を生かし法整備の充実、そして予算措置を速やかに施行できるようにしておくこと、発災地自治体の首長には災害対応の予算枠に拘束されない権限を与えておくことが罹災者を守ることになる。しかし頻発する大災害への対処として、これまでの政府自民党の政策には疑問を呈さざるを得ない。

### ▶ 国民の思いを実現させない政府・自民党

自民党は2012年、改憲草案を公表し新たな条文として緊急事態条項を設けている。この草案を基とし、'18年にはさらに改憲案4項目を示し、草案と同様の緊急事態条項を盛り込む。草案の99条は問題が多い。その一つに緊急時は政府が指示し自治体はこれに従う



とされていることだ。発災で今必要なことは現地の人々こそが体感で分かっている。自治体独自の判断を優先すべきで国は支援に徹し指示などは不要である。さらにこのところの憲法審査会では緊急時における議員任期延長の議論を延々としている。参議院の「緊急集会」で対処できるものを議員延命をはかろうなどは不要だ。国民の安全と生活が憲法に叶っているかこそ論議すべきだ。災害の記憶を辿れば阪神淡路大震災、東日本大震災そしてこの度の能登半島地震と災害大国である日本は依然として一次避難は体育館の劣悪環境、その後も震災対応ノウハウの蓄積は乏しく不便を強いられ、経験を生かした改善がなされていない。

今回を機に政府は国民思いの防災投資へと転換させなければならない。他国の避難所の充実した実態を見せつけられるにつけ、不要なことは不要と、そして必要なことは最優先で実行する政府にしなければとつくづく思う。



### 魔法の文学館 長島宏子

江戸川区の旧江戸川のほとりに昨年暮れ、かわいい文学館が誕生しました。「魔法の文学館」。

館長さんはジブリの映画でおなじみ「魔女の宅急便」の原作者、角野栄子さんです。

角野さんはお正月に89才を迎えられたという事ですがとてもはつらつとして、若々しく、いちご色のアクセントのお洋服を着こなすステキな女性です。文学館は白い壁に角野さんのイメージカラーのいちご色の窓枠。建物の中は本を自由気ままに楽しめる空間が広がっています。

大人の我々には子どもの本、絵本はちょっと、といわないで。絵本を読むことで、人生の後半になって、仕事にあくせくしているなかで忘れてい

た大事なもののユーモア、悲しみ、孤独、支え合い別れ、死、いのちといったものが、あぶり絵のように浮き上がってくる、という事を言う人もいます。

子どもたちに小さいときに読んであげた本、自分が子どもの時に夢中で読んだ本、その時の周りの景色、匂い、いろんな状況が本を読むことで頭に蘇るかもしれません。

最近のつらい現実、争い、自然災害、政治の退廃、、、子どもの本を手にとって心をリフレッシュするのもよろしいのでは??



eiko.kadono



魔法の文学館